

～今年最後の旅は少し贅沢に。有名建築家が手掛けた建造物をめぐる～

ゆったりと非日常感あふれる長崎のリゾートホテルに宿泊する

そとめ 世界遺産 外海の集落や日本磁器のふるさとを訪れて長崎アートを感じる

西洋と東洋の文化が交じり合った、歴史多き長崎。歴史的・近代的な建造物が多数あり、近年では有名建築家が設計した建築物も多く存在します。今回は隈研吾氏が設計したホテルに2泊する貴重な旅です。外観の印象だけでなく内面的な部分も見ることができます。アートと建築という組み合わせは、人が旅するきっかけにはふさわしいものだと言われております。いつもとは違った目線で長崎を訪れませんか。

日本遺産 日本磁器のふるさと肥前



有田で芽吹いた磁器生産の技術は各地で新たな陶石の発見を経て三川内や波佐見でも発展しました。肥前式と呼ばれる連房式の登り窯や共通の道具を使いながらそれぞれの個性を際立たせるため互いに技術を競いながら独自の華を開かせていました。

世界遺産 外海の出津集落と大野集落



ド・ロ神父が風の強い斜面の台地に、1882年ド・ロ神父は26戸の信者と力を合わせ1893年私財を投じて建てた質実剛健な教会。2011年に国の重要文化財に指定されました。ト・ロ神父は26戸の信者と力を合わせ1893年に大野教会を完成させました。ド・ロ神父の建築技法が典型的に表されている教会として2008年に国の重要文化財に指定されました。

隈研吾氏が設計した2つのホテルに宿泊します

1日目 オリーブベイホテル(長崎県西海市)



長崎の西、緑豊かな大島にある小さなけれど贅沢なリゾートホテル。客室はベイビューでテラスから小湾の眺めをご覧いただけます。内装は洗練された家具や調度品など上品でスタイリッシュなデザイン、館内では陶板のレリーフや絵画などのアート作品も見る事が出来ます。喧騒を離れた大人の贅沢なひとときをお過ごしください。

2日目 ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート(長崎県長崎市)



大人の夜景リゾート。客室は全て目の前に長崎港が広がるオーシャンビューで、世界新三大夜景にも選出された長崎の夜景はまるで一枚の絵画の様。宿泊者専用のクラブラウンジも利用できます。非日常感あふれるシティーリゾートの最高の贅沢と感動をお楽しみ下さい。

【有名建築家が手掛けた長崎を代表する2つのアート施設】

長崎県美術館



・設計は隈研吾氏、中央に運河が流れ左右にギャラリー棟と美術館棟を配置し、それらを空中回廊で繋いだ建物。長崎県の新たな芸術文化発信スポットとして2005年にオープンしました。海外交流の拠点としての歴史がある長崎の地にふさわしく、スペインのプラド美術館や韓国の釜山市立美術館との交流も積極的です。

長崎歴史文化博物館



・設計は黒川紀章氏、和の雰囲気のする外観が特徴の建物。西欧に唯一開かれた窓口として栄えた長崎の様子や出島で行われたオランダとの貿易など長崎ならではの海外交流の歴史や文化を学ぶことができます。また長崎奉行所を当時の資料をもとに一部を復元した世界的にも大変ユニークな博物館です。

旅行期間 2019年12月2日(月)～4日(水)

2名様1室利用 (お一人様)	148,000円	募集人員 18名様 (最少催行人員10名様)
旅行代金 ※1名様1室利用追加代金: 15,400円(お部屋数に限りがあるためご希望に添えない場合もございます。お問い合わせ下さい。)		

羽田空港08:15発→
ANA661便→長崎空港10:00着→日本遺産「日本磁器のふるさと」波佐見焼の絆本山・陶郷中尾山を散策→地底炭坑の陶農レストラン「清旬の郷」にて昼食→日本遺産「日本磁器のふるさと」三河内焼美術館を見学→16:30頃ホテル着予定
食事:朝×・昼○・夕○【オリーブベイホテル:泊】

ホテル09:00発→世界遺産・外海・大野教会堂→海・出津の集落をガイドと共に散策・見学(出津教会堂→旧出津救助院→昼食)→小説「沈黙」の舞台となった外海・遠藤周作文学館を見学→黒崎教会を見学→16:00頃ホテル着予定
食事:朝○・昼○・夕○【ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート:泊】

ホテル09:45発→隈研吾氏が設計、スベイン美術をはじめ、長崎ゆかりの美術品を収蔵・長崎県美術館を見学→ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルにてブッフェの昼食→国宝・大浦天主堂とキリストian博物館→黒川紀章氏が設計、江戸時代から近現代までの海外交流の歴史と文化を学ぶ・長崎歴史文化博物館→長崎空港18:45発→
ANA670便→20:40羽田空港着
食事:朝○・昼○・夕○(お弁当)

添乗員/同行します
食事/朝食2回・昼食3回・夕食1回(お弁当含む)
交通機関/航空機(ANA)・貸切観光バス(予定運行会社:ラッキーバス株式会社 同等)